

千葉の経営者に聞く2025

小出ロール鐵工所

社長

小出 明治氏



2025年は創業から11年目の年になります。唐津プレシジョン(東京都港区)と共同開発した大型ロール研削盤の認知度が業界内で高まり、稼働率がアップしている。これに伴い生産設備の中核部品の製造が増えている。

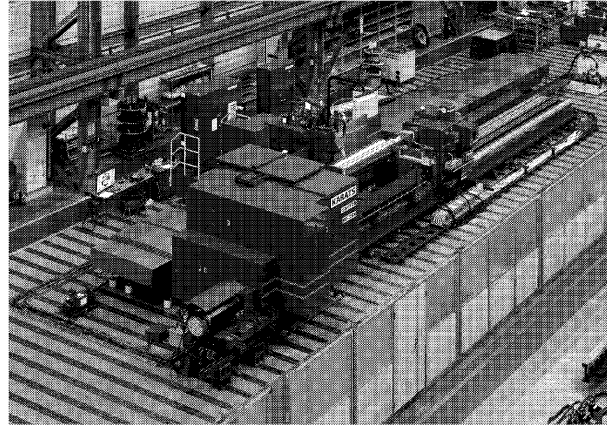
脱皮を続け、さらなる成長

「2025年は創業から11年目の年になります。唐津プレシジョン(東京都港区)と共同開発した大型ロール研削盤の認知度が業界内で高まり、稼働率がアップしている。これに伴い生産設備の中核部品の製造が増えている。売上高比率は主力の庄延ロールやシャフトの修理・再加工が約65%で、新規製作が約35%まで伸びた。この新規製作の比率を維持できるようにする。25年3月期は増収増益の見通しで、業績はコロナ前に近づいている。一人手不足が課題です。」

「定期採用はしっかりとできているが、マンパワーが不足している。ただ、受注が増えている中でも、残業を増やさずに業績が堅調に推移している。この状況から考えると、30代前半の中間管理職を中心に、全社員が業務改善をやりきってくれている結果だ。また産業界の受注が増えている。25年は楽しみです。」

「25年をどのような年にしますか。」
「25年は20年で、我々も成長するため、脱皮を続ける。成長の皮を脱皮しなければいけないことが見えてくる。これをやり残したことがあるとマイナス評価するのではなく、さらに成長する。長年組めると評価したい。学生や取引先にも選んでもらえる個性のある企業を目指している。」

所在地=千葉県習志野市東習志野6の21の8
TEL=047-475-3811



導入した大型ロール研削盤

ナノテック

社長・博士(理学)・博士(工学) 中森 秀樹氏



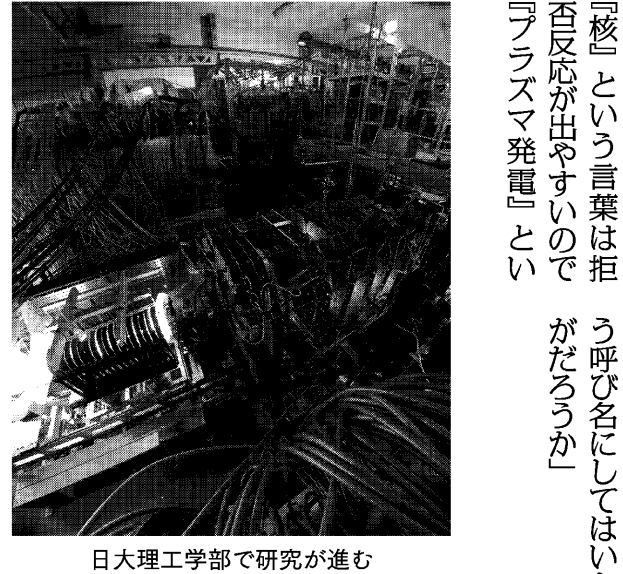
2025年が始まりました。展望と戦略を教えてください。
「当社はプラズマ制御技術に強みがあり、関連して電源装置も製造している。24年は、防衛費が増額されたこともあり、これまで修理対応だった防衛関連の電源装置でリプレー需要が発生し、売り上げ増に寄与。黒字と

核融合発電の研究を推進

「2025年が始まりました。展望と戦略を教えてください。当社はプラズマ制御技術に強みがあり、関連して電源装置も製造している。24年は、防衛費が増額されたこともあり、これまで修理対応だった防衛関連の電源装置でリプレー需要が発生し、売り上げ増に寄与。黒字と状況が続く見込みであり、電源に関する人材の確保が必要だ。若年層はもとより、シニア層にも頑張ってもらいたいと考えている。」
「核融合発電の研究に注力しています。」
「弊社の基幹技術であるDLC(ダイヤモンド)を、さまざまな方式が提唱されているが、日大が取り組むのは磁場反転配位(FRC)ミラー方式だ。FRCと高エネルギーイオンの閉じ込めによるビーム駆動の核融合方式で、他の核融合発電方式である「トカマク方式」「レーザー方式」と違い、中性子が発生しない、設備を作る材料に自由度があるメリットがある。千葉県柏市にある日大理工学部船橋キャンパスで実験が行われており、ナノテックはプラズマ計測装置の開発研究に協力している。核融合発電の実用化に協力したいと考えている。ちなみに

「核」という言葉は拒否反応が出やすいので「プラズマ発電」という呼び名にしてはどうか。」

「核」という言葉は拒否反応が出やすいので「プラズマ発電」という呼び名にしてはどうか。」



日大理工学部で研究が進むFRCミラー方式の研究装置

所在地=千葉県柏市柏インター南4の6
ナノテックプラザ
TEL=04-7135-6111

リファインホールディングス

社長

川瀬 泰人氏



2024年はどのような年でしたか。
「使用済み有機溶剤を新品よりも高い品質に再生するアップサイクル事業を展開する中国では、事実上、不動産バブルが崩壊した。その影響で、電気自動車(EV)用リチウムイオン電池(LIB)の製造で使用する有機溶剤のリサイクル需要が大幅に減少した。そのため医薬品や電子関連部材を製造する有機溶剤のアップサイクルに切り替え、どうにか黒字を達成できた。現地の社員には感謝している。」

100%バイオ原料で精密成形可能な材料を

「成分は60〜80%が未利用の杉やヒノキ、竹、ホップ、コーヒーのかすなどで、残りを合わせて100%バイオ素材だ。石油由来成分は一切使用していない。このような成分でありながら、プラスチックのような精密成形性を有している。事業化のめどが立ち、2月からは生産機能を持つ研究開発拠点を稼働し、原料のさらなる強度アップと耐熱・耐久・リサイクル性の向上、新たな未利用資源でのグレード拡大に取り組み。マイクロプラスチックなどプラスチック課題の起因する社会課題の解決につながる。」

「25年をどのような年にしますか。」
「24年は能登半島地震からスタートし、改めて日本は災害が多い国であることを思い知らされた。南海トラフ地震や首都直下型地震なども懸念される。未利用資源の資源化を通して災害に備える事業を立ち上げたい。また使用済み有機溶剤のアップサイクル事業に加え、未利用資源を



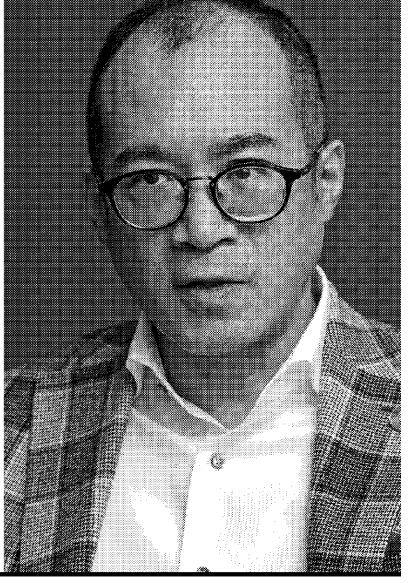
新素材はプラスチックのような精密成形性を持つ

所在地=東京都千代田区丸の内2の2の1
TEL=03-3201-3357

白鳥製薬

社長

白鳥 悟嗣氏



2024年の振り返りをお聞かせください。
「23年11月に完成した新工場(西浜研究所二期棟)の稼働が非常に順調だった一方、過去の特許の権利が失効する時期に入ってきており特許収入は減少した。24年8月期の業績は売上高が前期比10%増の約62億円。黒字を確保した。社員のお力のおかげだ。」

原薬の製造・輸入販売に注力、美容関係も強化

「25年の展望は。」
「西浜研究所二期棟は引き続き順調で2年先までスケジューリングが入っている。特許収入についても新しい知財案件が順調に進んでおり、本年中にアメリカやヨーロッパ、日本で承認申請する予定だ。認められれば新たな特許収入が今後期待できる。今年の干支は巳年で再生を意味する。社内では新たな経営理念に基づき企業文化の変革に挑戦しており、さらなる飛躍の起点となる年にしたい。」
「今後、成長が期待できる事業は何ですか。」
「まず、原薬の輸入販売事業だ。もともと当社は国内ですべての原薬を製造していたが、最近国内製造で得た検査や薬事申請の体制を生かして海外の優れた原薬や製剤を輸入・販売している。この売り上げは全体の半分弱まで伸びており、今後まだ成長する可能性があると考えている。」

「健康食品については、日本のほかベトナムで販売しているが、特にベトナムの伸びが良い。立ち上げから5年程度だが、現在はベトナムだけで3億円弱の売り上げがある。やはり人口が増え続けていることが大きい。機能性と安全性のバランスある健康食品を販売していく。」



西浜研究所二期棟は2025年も稼働順調の見通し

所在地=千葉県美浜区中瀬2の6の1
TEL=043-307-8977

さらなる飛躍の起点となる年に

Eプラン



社長

松澤 民男氏

「社会を挙げて国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて取り組んでいます。」

金属加工の洗浄工程でゼロエミ

「当社の強アルカリイオン電解水『スーパーアルカリイオン水』(SAIW)の成分は、99・83%の純水と0・17%のカリウムだ。無色・無臭・無刺

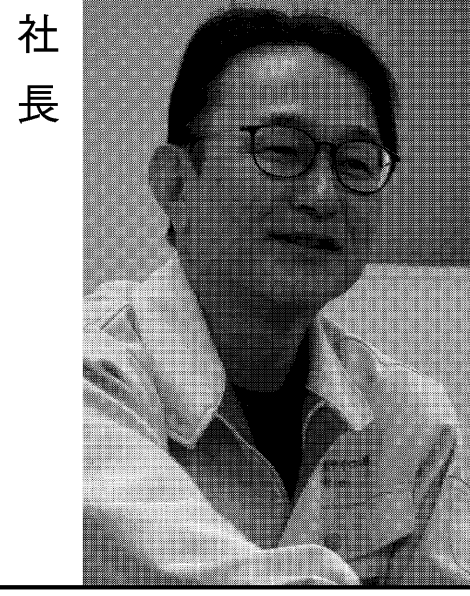
激で、人に安全で地球環境にも優しく、強力な洗浄・除菌・消臭・防錆効果がある。製造業ではゼロエミシヨ

「SAIW生成機と洗浄機、洗浄液再生機などで構成している。生成したSAIWでワーク(加工対象物)を洗浄し、廃液は再生して継続的に使用できる。金属加工の洗浄工程でゼロエミシヨンを可能にする。我々が開発した商品をアマダで販売してもらえ



所在地=千葉県船橋市高瀬町31の6
TEL=047・404・9240

千葉共同サイロ



社長

中村 好克氏

「人事制度と組織体制を見直しました。」

日本最先端のサイロ会社に

「小麦を船から荷卸して保管・出荷するサイロ業務や、営業、管理など複数の業務を経験した社員を幹部候補に登用することにしました。複数の業務に対応できる能力を身に付け、社員が少ななくても長期休暇の取得などが

「業務フローを見直しており、すでに残業時間が減るなど成果もあ

「27年に創立60周年を迎える上で、2024年が重要な年になる。2025年ぶりの料金改定を進めることなどにより、売上高と利益を大きく伸ばし、その利益を人材とシステムに投資していく。デジタル変革(DX)などを駆使し、年間12日間以上の有給休暇を取得してもらうよう

「25年はこのように取り組ま



小麦の入出荷スケジュールの作成をAIで可能に

所在地=千葉市美浜区新港16
TEL=043・241・1231

吉野機械製作所



社長

吉野 友章氏

「2024年はさまざまな取り組みを進めました。」

新製品開発と海外展開に注力

「2024年はさまざまな取り組みを進めました。」

「現在の完全自動曲げシステムは枠材に特化した製品だが、パネ

「4月に人事評価制度を刷新する。スキルを可視化し透明性を確保する仕組みを導入し、まず管理職を対象

「25年はこのように取り組ま



ロボットとプレスブレーキを組み合わせた完全自動曲げシステム

所在地=千葉市緑区大野台1の5の18
TEL=043・312・5900

アシザワ・ファインテック



会長

芦澤 直太郎氏

「業績が堅調に推移しています。」

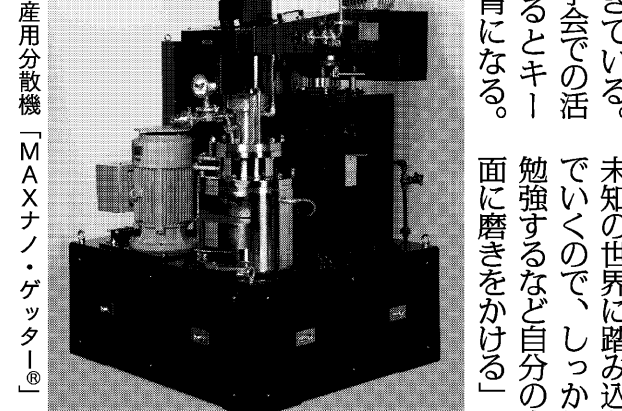
地域と業界の発展に貢献

「私が社長の時もそうだったが、現社長と部長クラスの幹部との合議制で、会社が極端な方向に走るのを防ぎ、風通しのない組織づくりにつながっている。電気自動車(EV)の普及が想定よりも伸び悩んでいるが、中長

「2023年に会長に就任しました。」

「私の経験を生かせる大きな舞台を用意してもらい、会長に就任する際に思い描いてい

「25年はこのように取り組ま



ナノ粒子大量生産用分散機「MAXナノ・ゲッター」

所在地=千葉県習志野市茜浜1の4の2
TEL=047・453・8111

